

ジノテフラン

北部檜山医師会
せたな町立国保病院

黒川 剛 生

風呂場の内装は何色が多いのだろうか。バススタブのショールームを見るとクリーム色かピンクとか白とか、明るい色が多いのではないだろうか。個人的には高級感のある黒とかが好きである。うちの風呂場も昨日まではクリーム色だったが、今朝は床が黒になった。別に張り替えたわけではなく、一晩の間に床の色が変化したのだ。起きたばかりの回らない頭はシャワーを浴びるだけで精一杯、視力も悪いので、イマイチ何で黒いのか分からないが、お湯を浴びせると黒い色は流れていき、元のクリーム色の床に戻ってきた。カビでも生えたのだらうと思い、風呂から出て体を拭き、コンタクトを付けて風呂場に戻り、まだ所々に残っている黒い物質を確認すると、それは羽アリであった。どうやらうちの風呂場にアリの出入り口があり、昨晚巣立ちの日を迎えたアリたちは風呂場から出ることを叶わず、死骸が風呂場を埋め尽くしたらしい。これが今年の9月の話である。

今年も春が来てさまざまな生き物が姿を見せるようになった。住居は最寄りの駅まで徒歩10時間はかかる秘境であり、都会ではあまり見ないような毒蛾による皮疹やダニ咬傷なども最近増えてきた。アリは人間の生活にはさほど害はないと思い去年は特に対策もしなかったが、風呂場を埋め尽くすほど室内で大量発生されてはさすがに駆除せざるを得ない。しかし普段は室内にアリの姿はなく、当然風呂場に彼らが出入りする巣穴なども見つからない。となると、もう絨毯爆撃しかなく、うちに面する土地に出入りしているアリをまとめて駆除するしかない。

まずはうちの周りを歩いて、どこに巣穴があるのか探してみた。すると日当たりのよい西側には食べ物を探すアリが多いのに対して、日当たりの悪い東側にはアリは見当たらなかった。やはり暖かいところのほうが活動しやすいのだろうか。しかし歩いているアリに対して巣穴は2ヵ所しか見つからなかった。見つけた巣穴はアスファルトの裂け目であり、やはり土の上の雑草の中にある巣穴は探しにくい。しかし見つけた巣穴の片方はうちの壁のアスファルトの隙間であり、羽アリの女王が中にいる確率が高い。次に駆除の方法である。働きアリを多少駆除しても意味がなく、女王を殺さねば意味がない。アリの駆除剤は大きく分けて、巣穴にぶち込んで殺す「スプレータイプ」、アリの通り道に撒き近寄せなく

する「パウダータイプ」「液状タイプ」、巣穴ごと滅ぼす「毒餌タイプ」がある。今回選択するのは「毒餌タイプ」がふさわしいであろう。ネットで評判の毒餌を数種類購入し、巣穴の近くや庭にばら撒いてみた。がネットの評判とは裏腹に、アリは餌に寄り付こうとしない。唯一、食べ付いた餌は砂糖水とホウ酸の混ぜ合わせた単純なやつで、よく分からない名前の薬品が入っているからといって効果が高いわけではないらしい。しかし砂糖水とホウ酸も次第に食いつきが悪くなり、一時的に減少していたアリも元のように行列を作るまで回復していた。毒餌タイプは効果がなさそうであるということが分かったが、このまま放っておくとまた秋にはXデーを迎えてしまう。

近所のホームセンターに「アリの巣徹底消滅中」という製品が置いてあった。ネットでの評判はあまり良くなかったが、ダメ元で購入し、使用してみた。巣の近くに撒き、食毒・接触作用でアリを駆除するらしい。使用して10日ほど経ったが、アリは巣の近くにほとんどいなくなった。もちろん他の毒餌タイプの効果が遅れて出てきた可能性もあるが、アリでお困りの方はぜひ試してほしい。タイトルはその有効成分である。

